



64 シリーズ

インテリジェントインバータ

PCツールマニュアル



64シリーズ
トレースバックモニター
取り扱い説明書

東洋電機製造株式会社

本書は、VF64シリーズ トレースバック ソフト V1.20以上について記す。

目次

1. 概要	3
2. トレースバックの起動画面	3
3. トレースバックのメインメニュー	3
4. トレースバックデータの読み込み	4
5. 数字グラフ画面	4
6. ビットグラフ画面	6
7. データ表	7
8. 通信設定	8
9. 英文／和文 切り替え	8

1. 概要

V F 6 4で故障を起こしたときに、電流や電圧などのデータを自動的に記録する。これらのデータを表示したり、保存したり、印刷したりするのはトレースバックの機能です。

2. トレースバックの起動画面

TraceBack.exe を起動すると右図の画面が表示されます。



3. トレースバックのメインメニュー

ツールバー	メニュー	機能
ファイル		
	開く	既存のデータを開きます。
	保存	現在編集中的数据を保存します。
	終了	V F 6 4トレースバックソフトを終了します。
表示		
	数字グラフ	数字グラフ画面を表示します。
	ビットグラフ	ビットグラフを表示します。
	データ表	データ表を表示します。
通信		
	通信設定	通信画面を開きます。
ヘルプ		
	バージョン情報	
	フラグ説明	ビットグラフの4つのフラグの各ビットの説明を表示します。

4. トレースバックデータ読み込み

次のデータを読み込み、表示することができます。

1) ユニットの記憶している、“NEW”または“OLD”の故障時データ

(1) 「通信」—「通信設定」により、“Communication Form”画面が表示されます。

(2) “Port select”の、COMポート番号を選択します。

(3) “Data select”の、“New”または“Old”を選択します。

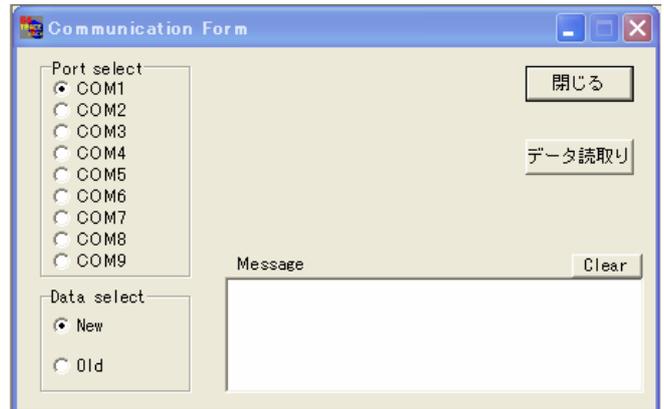
“NEW”は、最も最近発生した保護動作のデータであり、

“Old”は、“New”よりひとつ前の保護動作のデータです。

(4) 「データ読み取り」をクリックすると、VF 64からパソコンにデータが取り込まれます。

2) すでにファイル化されているデータ。

(1) 「ファイル」—「開く」により、ファイルを指定します。

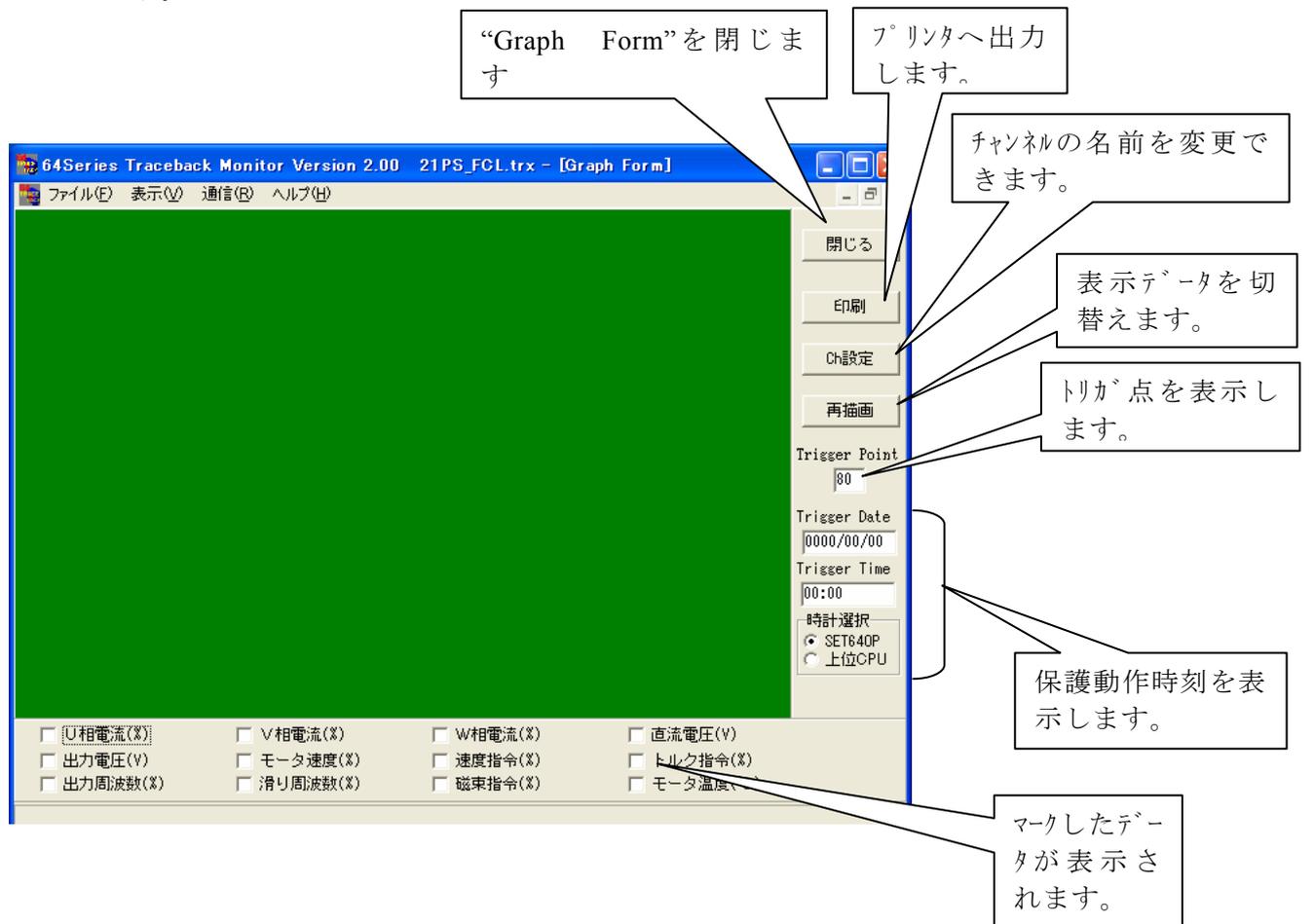


取り込んだデータは、以下に示す3通りの表示が出来ます。

5. 数字グラフ画面

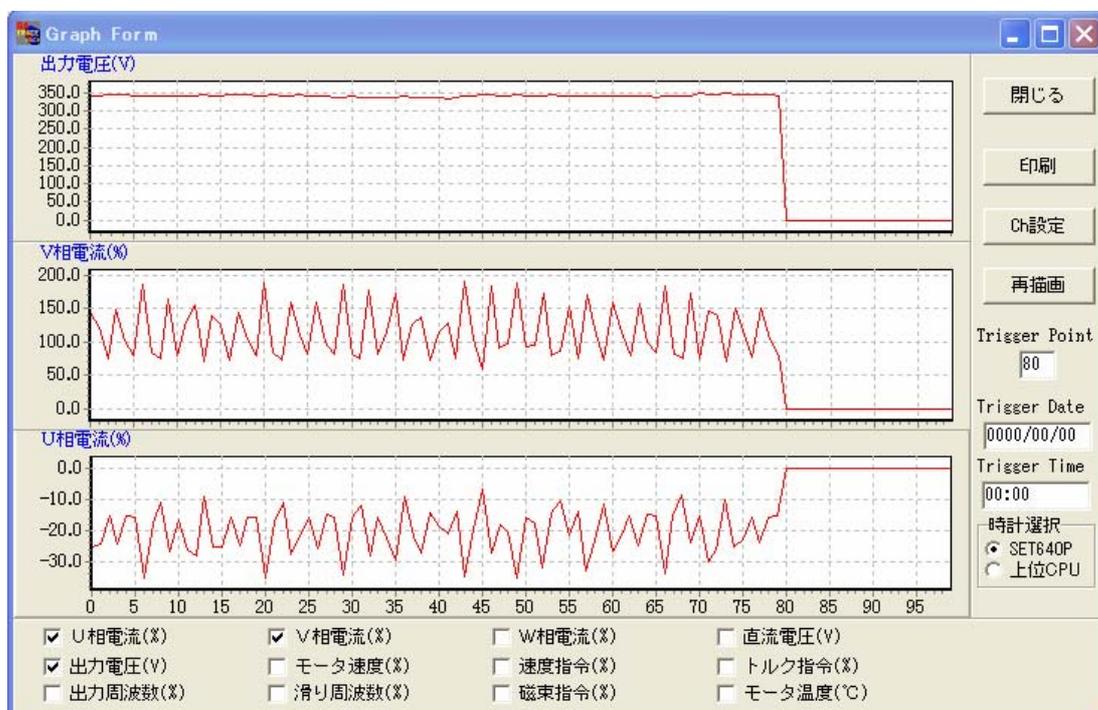
1) 電圧、電流等の波形をグラフにして表示します。

2) 4項によりデータを取り込んだ後、「表示」—「数字グラフ」により、“Graph Form”が表示されます。



3) 表示データの選択

VF64は12chの数字データを記憶しています。チェックボックスをマークすることによりにより最大5chのデータを同時に表示できます。



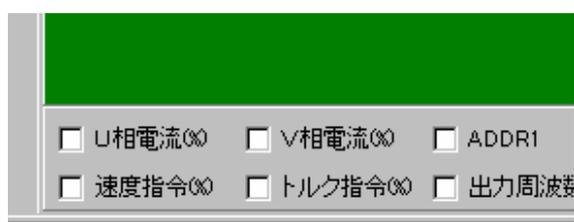
4) 「Ch設定」 次の画面を開き、

チャンネルの名前を変更できます。

a) 左側の”Ch 表示”はデフォルトの名前を表示しています。

b) 右側の欄に名前を入力し、○ボタンをクリックすると、”Grph Form”に表示されている名前が変わります。

注) 本設定は表示上の名前が変わるだけであり、表示されるデータや、トレースバックするデータを設定するものではありません。



5) 「再描画」

複数のデータを取り込んだ後、最後に取り込んだデータを表示する時クリックします。

あるデータを取り込み、”Graph Form”を表示している状態から、新たにデータを、ファイル、あるいはVF64から取り込んだ場合には、取り込んだだけでは”Graph Form”は変わりません。必ず「再描画」をクリックしてください。

6) “Triger Point”

画面の左端からトリガ点の長さ（プリトリガ期間）を表示します。

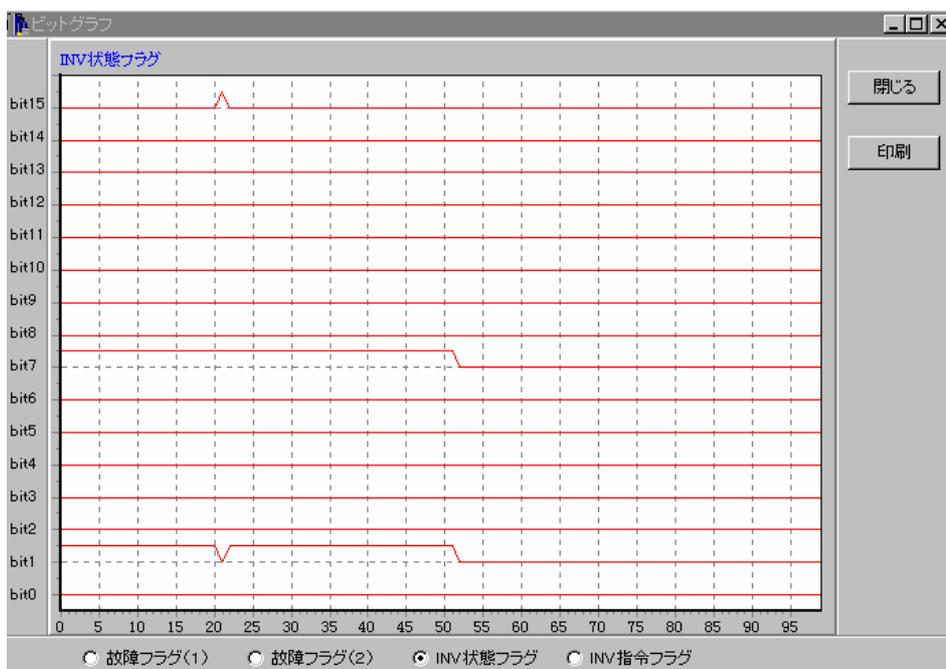
この期間は、コンソール SET64 で設定されます。

7) ”Triger Date””Triger Time”「時計選択」

保護動作が発生した時刻を表示します。

この表示が有効になるためには、上位コンピュータから時刻のデータが送られていることが必要です。その上で、“上位 CPU”を選択します。

6. ビットグラフ画面



(1) チャンネルの選択

VF64は4chのビットデータを記憶しています。1chには16bitのデータがあります。

ラジオボタンの選択によりそれぞれのデータを表示できます。

各チャンネル信号の内容は、「ヘルプ」—「フラグ説明」により表示されます。

(2) ボタンの操作

「閉じる」 数字グラフ画面を閉じます。

「印刷」 印刷ダイアログを開き、プリンタ設定を行い、画面を印刷します。。

7. データ表

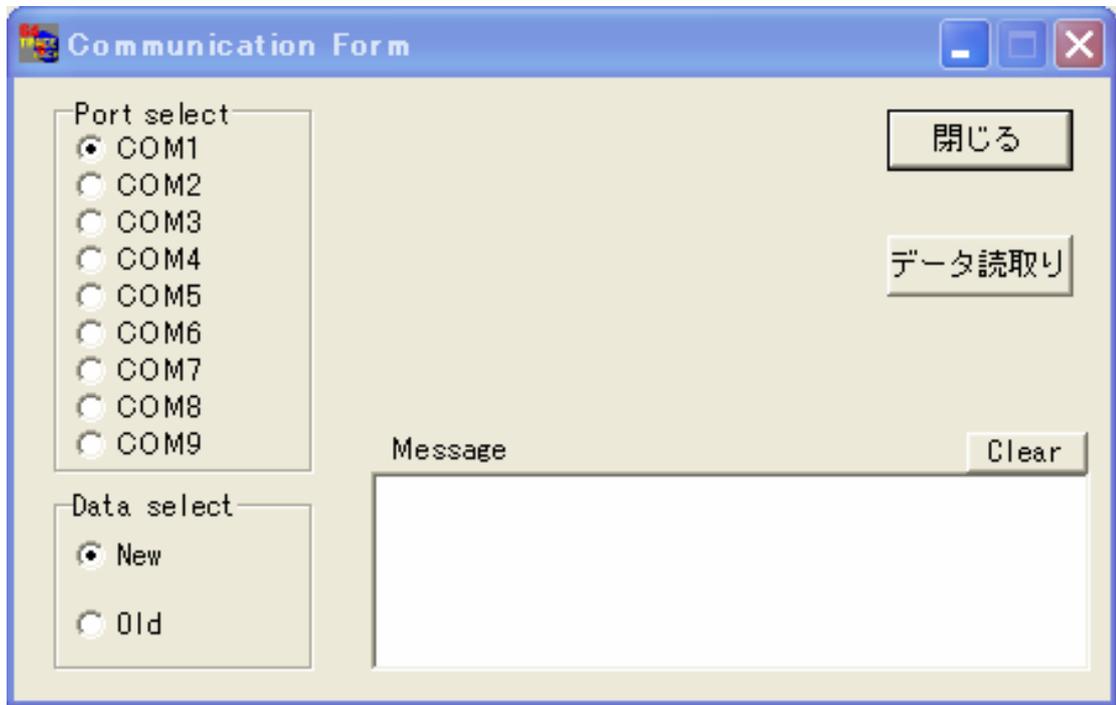
	ch1	ch2	ch3	ch4	ch5	ch6
0	-25.06	145.00	-119.64	681.20	341.20	0.00
1	-24.30	121.04	-97.66	678.40	341.20	0.00
2	-15.18	74.12	-59.88	690.00	343.60	0.00
3	-24.30	147.72	-120.86	676.40	343.60	0.00
4	-15.42	101.54	-87.28	680.20	343.60	0.00
5	-15.66	80.54	-65.56	690.00	339.90	0.00
6	-35.18	187.22	-150.74	673.40	339.90	0.00
7	-17.64	83.76	-65.80	685.20	342.40	0.00
8	-10.98	74.86	-63.82	689.00	339.90	0.00
9	-26.78	165.00	-137.16	676.40	339.90	0.00
10	-16.66	80.06	-64.32	686.20	342.40	0.00
11	-26.04	129.94	-103.82	683.20	339.40	0.00
12	-28.26	156.60	-131.24	675.40	339.40	0.00

取り込んだ16ch×100点のデータを表で表示します。

“正規化値”を選択すると、データは、“V”、“%”等の単位で表示されます。

“元データ”を選択すると、データは、CPUが演算で使用している数値をそのまま表示します。

8. 通信設定



- (1) ポートの設定
通信ポート COM1 から COM9 までを選択できます。デフォルトは COM1 です。
- (2) データの選択
VF64 は New と Old の 2 回分のデータを持っています。どちらのデータを読み取るかここで選択します。デフォルトは New データです。
- (3) メッセージ
通信中のメッセージや、通信エラーのメッセージをここで表示します。
- (4) ボタンの機能
「閉じる」 数字グラフ画面を閉じます。
「データ読取り」 トレースバック 1 回分のデータを読み込みします。
「Clear」 メッセージの内容をクリアします。

9. 英文／和文切り替え

一度でも、Trace_v111.exe を実行すると Trace_v111.exe があるフォルダと同じフォルダ内に、Trace.fil というファイルが作成されます。

この Trace.fil ファイルをメモ帳で開いて、書かれている数字を、

1 とすると日本語表示になります。

2 とすると英語表示になります。(1 以外の場合は英語になります)

— 以上 —

 **東洋電機製造株式会社**

<https://www.toyodenki.co.jp/>

本 社 東京都中央区八重洲一丁目 4-16 (東京建物八重洲ビル) 〒103-0028
産業事業部 TEL. 03 (5202) 8132~6 FAX. 03 (5202) 8150

TOYODENKI SEIZO K.K.

<https://www.toyodenki.co.jp/en/>

HEAD OFFICE: Tokyo Tatemono Yaesu Bldg, 1-4-16 Yaesu, Chuo-ku,
Tokyo, Japan ZIP CODE 103-0028
TEL: +81-3-5202-8132 -6
FAX: +81-3-5202-8150

サービス網

東洋産業株式会社

<https://www.toyosangyou.co.jp/>

本 社 東京都大田区大森本町一丁目 6-1 (大森パークビル) 〒143-0011
TEL. 03 (5767) 5781 FAX. 03 (5767) 6521

本資料記載内容は予告なく変更することがあります。ご了承ください。